

第**10**回
歴史文化をめぐる地域連携協議会

地域歴史文化の形成と災害資料

認識すること・記録すること・伝えることの意味を考える

2012年1月29日(日) 11:00～17:00

神戸大学文学部 B331号室 (文学部B棟3F)

- 11:00～11:10 主催者挨拶
11:10～11:20 趣旨説明(奥村弘・神戸大学地域連携推進室室長)
11:20～11:30 今年度協議会のねらい(板垣貴志・神戸大学大学院人文学研究科特命助教)
- 11:30～12:10 報告① 兒玉州平氏(人と防災未来センター震災資料専門員)
災害展示の方法を考える—人と防災未来センター資料室の取り組みから—
- 12:10～13:00 昼食・交流会
- 13:00～13:40 報告② 宮本博氏(兵庫県立図書館館長補佐)
地域歴史文化の形成拠点としての図書館—災害資料を伝えることの意味—
- 13:40～14:20 報告③ 高森順子氏(人と防災未来センター震災資料専門員)
手記集を介したコミュニティ—「阪神大震災を記録しつつける会」の活動変遷—
- 14:20～14:50 交流会
- 14:50～15:30 報告④ 小長谷正治氏(伊丹市立博物館館長) / 水本有香氏(同震災資料調査員)
博物館と災害資料
- 15:30～15:45 コメント 上村武男氏(水堂須佐男神社宮司)
- 15:45～17:00 総合討論
- 17:30～19:00 懇親会

